

2021年度 シャローム横浜事業計画

基本方針：【希望と平和に向けて進む】

コロナ禍という目に見えない脅威や不安感、それに伴う失望や分断・差別が世界的に蔓延している状況の中、これによってできた心の壁に対して我々はいま一度、法人理念の根拠である聖書に立ち返る必要性を強く感じています。真に必要とされる場所に出て行って奉仕された「キリストの生き方に倣う」ことを福祉実践の根拠として「希望と平和に向けて進む」ことで、高く積み上げられた不振や絶望の壁を打ち破ることができると思っています。そしてご利用者のみならず、ご家族や職員同士等すべての「いのち」に対して寄り添い、支え合い、助け合うことで法人理念を具現化したいと願っています。

今年度はシャローム横浜の各部門においては以下の内容を検討し、取り組んで参りたいと思います。

1. 法人の基本理念を具現化に向けた取り組み

- ① 朝礼への参加と情報伝達
- ② 「いのち」に寄り添うケアの実現
- ③ 部門を問わず、お互いに協力できる組織作り

。

2. 安全と安心の確保

- ① 感染予防対策を日頃から実施できる体制づくり
- ② 自分で考え行動できる人材の育成
- ③ 様々な災害に対応した計画の策定

3. 将来への希望につながる取り組み

- ① 経営状況の改善と持続可能な体制の構築
- ② 新規事業の立ち上げ

上記の内容を基本として、各部署において具体的な計画を立案しています。

1. ご利用者が「自分らしく」生活を営んでいくことができるよう、寄り添い、支え合い、助け合う運営をご家族・施設のみならず在宅も含め一体となり、実行する。
2. 弁護士と連携したリスクマネジメント体制の検討を行う。
3. ケアプラン会議・病状説明・家族会・各種行事等 ICT を活用した運営を模索する。
4. 業務の効率化や方法を見直すことで、持続可能な体制を構築する。
 - ・ドクターメイトの導入や喀痰吸引研修を施設内で実施することによる業務見直し。
5. 3・4階の連携を強化し、お互いに支え合う関係を構築する。
6. 認知症ケアの充実・嚥下困難者への対応・褥瘡予防・音楽療法の取り組み等、様々な課題に対する取り組みを行う。
7. シャローム横浜の特徴である食を生かした試み。

【新型コロナウイルス対策について】

シャローム横浜においては、感染症対策委員会を中心に情報収集及び情報共有、対策の立案や物品等の確認など、2週間に1回の割合で開催することにより、様々な対策を講じています。

1. **職員に対する PCR 検査**：行政より職員向けに 3/12 に検査を実施（126 名）、全員（一）。
2. **ワクチン接種**：利用者・職員の希望者に対し下記の日程のいずれかで 1 回目接種実施予定。なお、2 回目については医療機関と現在調整中。
 - ① 5/28(金) 14:45～
 - ② 6/4(金) 14:45～
 - ③ 6/11(金) 14:45～
3. **面会**：現在月・木と月 2 回の土曜日に 2 階ダイホール横でパネル越し面会を実施中。2 カ月前からの予約で、1 日あたり 4 組まで予約可能。
なお、面会指針により蔓延防止等重点措置中はこの方法を継続するが、市内感染レベルが特定警戒都道府県指定の解除した場合は、フロアでの面会を検討中。
4. **感染対策**：介護職員は自分のフロアのみで勤務し、生活相談員・看護師は横断的に行き来している。職員全員出勤時の体温測定やマスク着用、手洗いとアルコール消毒を実施し、食事介助・口腔ケア時はフェイスシールド着用にて実施。
5. **今までの感染状況**：昨年度は下記の通り新型コロナに感染者が発生したが、本人以外には感染せずに無事収束することができた。
 - ① 職員：7/20 にケアサービス課職員 1 名が PCR 検査陽性。
12/16 に栄養課職員 1 名が PCR 検査陽性。
 - ② ご利用者：入院先の病院で院内感染したが、その後軽快して退院。
6. **今年度の対策**

新型コロナ感染症の終息時期が見えない状況の中、シャローム横浜としては感染症があることを前提に下記の取り組みを行います。

 - ① 今まで行ってきた感染対策を常態化させ、長期的に持続していける体制を目指して取り組みを行う。
 - ② 昨年度はコロナ禍の為にイベント等ができなかったため、できる方法を模索して実現することで、ご利用者に生活の楽しみを感じていただく。
 - ・夏祭りは各フロアで企画・開催し、その内容を見ていただけるように ICT 等の活用や見学の方法を検討する。
 - ・小規模の行事は各フロア毎に開催する。
 - ・感染対策をしっかりとした上で食を通じたイベントをご利用者向けに行う。（ピザを食べていただくイベント等）

- ③ 実習生やボランティア等の受け入れについては、ワクチン接種の状況や市内の感染状況を踏まえて、受け入れる方向で方法を模索する。

以上